

## 第 5 学年 道徳指導略案

指導者 安孫子功実・板山圭輔

主 題 名	内 容 項 目	教 材 名 (出典)
国境をこえて	<b>国際理解・国際親善</b> 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること	ペルーは泣いている (学研)
<b>ねらい</b>	世界の人々との交流を深め、親善に努めようとする態度を養い、それぞれの国の文化や伝統を認め合いながら、互いに尊重し合い助け合おうとする心情を育てる。	
<b>展開の概要 主な発問</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今までに経験した外国の人との交流について話し合う。</li> <li>2 教材「ペルーは泣いている」で考えたことについて話し合う。</li> <li>4 ゲストティーチャー（国際協力活動をしてきた方）の話を聞く。</li> <li>5 話を聞いて質問があったらする。</li> <li>6 話を聞いた感想を伝え合う。</li> <li>7 改めて、国際交流国際親善について自分自身に向き合う、何が大切なのか、どんなことがこれからできるのか考え交流する。</li> </ol>	
<b>評価（期待する姿）</b>	<b>準備するもの</b>	
国際理解と国際親善について、自己との関わりの中で理解し、多面的・多角的に捉えて考えを深めることができたか。 それぞれの国の文化や伝統を認め合い、互いに尊重しあう自己を見つめ、進んで助け合おうとする意識を高めることができたか。	ノート みんなの道徳 外国の史料 世界地図	
<b>考えられる家庭や地域での活動や連携</b>		
家庭の中でも世界のいろいろなことを話題として取り上げ、国際化の社会に向けて、どんな意識で生きていくとよいのか、いつも意識していく。外国の人と同じ地球の一員であり、助け合い理解し合っていくことが世界平和にもつながるという気持ちをもつことを家庭から大切にしていく。		